

令和 7 年度工賃向上計画書

作業工賃 令和 7 年度目標工賃額（月額）		作業工賃 令和 5 年度平均工賃額実績（月額）		目標工賃を設定する、達成するための目的			
月額 54,000 円		54,254 円		企業との施設外就労による連携をより強化することにより、就労支援・高工賃および日常生活の充実にもつなげていく。			
目標工賃を達成するための提案				それぞれの提案のメリットとデメリットを明らかにする			
				メリット		デメリット	
1	企業内作業（施設外就労）の業務を拡大する。			より多く企業内作業を獲得することにより、一人当たりの作業単価の UP を図る。		企業内作業が利用者さんの高負荷とにならないよう留意する。	
2	企業で作業をしているという意識をつけるため、ネームプレートの着用の徹底、ふさわしい身だしなみに注意する。			企業・利用者・支援者の意識を合わせることで企業側の目線を知る。			
3	通所率の向上。個々がより複数の作業工程を覚え、よりスキルアップしていく。			自発的に作業に入れ、作業のレベルアップが見込める。		疲れが出てくるため、細やかな精神的なケアが必要。	
4	職員の業務を支える・気持ちを支えるの両面の支援が両立するために、支援力向上の研修をさらに強化し、作業場面での個別対応力を高める。			個別支援力が高まることで多様な利用者さんの受け入れが可能になる。			
5							
6							
提案から考えるホープ大和の目標工賃向上計画案				目標工賃向上計画案を実行するための計画			
企業との連携（施設外就労）を充実させ、より積極的に作業を獲得し、より高い工賃実績、就労実績に結び付けていく。企業内で作業を行うことにより、達成感、責任感の獲得、自尊心の回復にもつなげていく。しかし、就労 B 型として利用者さんの通いやすさにも配慮する。				1	施設外就労先企業に絶えず新作業や人数増員の提案をする。		
				2	職員および利用者さんの日々の身だしなみの徹底。		
				3	会員企業への新たな施設外就労の提案。		
				4			
				実行状況を確認する頻度：半年後（九九カード作業終了時ごろ）に見直しを行う。			